

子供たちの 願いを生かそう

栗山川周辺9市町村の小・中学生から募集した「栗山川浄化啓発作品」入選者の表彰式が11月22日に文化会館で行われました。これは、栗山川汚染防止対策協議会(佐瀬哲司会長)が、栗山川の汚染防止の意識を高めることを目的に毎年行っているのですが、昨年を上まわる428点の作品(作文・標語・ポスター)の応募があり、どの作品も栗山川をするどくとらえた優秀なものばかりでしたが、横芝町からも多数の入選者を出しました。

栗山川浄化啓発へ多数の作品応募

- ① 残飯や野菜くずを流さない
- ② ゴミ、空カン、空ビン等を川へ捨てない
- ③ 野菜や農業用ビニール等を提防へ捨てない
- ④ 家畜のし尿や工場の排水は浄化してから流す
- ⑤ し尿浄化槽の維持管理を完全に行う
- ⑥ 洗濯は粉石けんか、無リン洗剤を使用する
- ⑦ 釣り人は、自分のゴミ等を持ち帰る
- ⑧ 不法投棄をしている者を見かけたら、役場か警察へ通報する



ていく考えですが、それまでには相当な年月が必要となります。そこで、それまでの間は、みんなの自覚と努力で生活雑排水を少しでもきれいな状態で流す

ことにより、ふるさとのシンボル、栗山川をきれいな状態に保ち、サケやコイなどが気持ちよく泳げるような環境をつくり出してやらなくてはなりません。

栗山川をきれいにしましよう

サケそ上のビックニュースは、一躍、栗山川を有名にし、私たちに大きな夢を与えてくれました。あれから6年、今年もサケのそ上が見られる時期になりましたが、サケが清らかな母川を求めてたくさん帰つてくるように、みんなで次の事項を守りましょう。

山武郡市広域水道企業団では、9月9日町内7カ所の井戸水の水質検査を行いました。その結果、水質基準に適合したものはわずか2カ所で、そのほかについては、異臭があるなど水質基準をこえていました。

無論この検査は、地区の一地点をとらえて行ったものですので、該当する地区すべてが不適当というものではなく、逆に適とされた地区は全く安全というものではありません。

ただ、地下水の汚染が徐々に進行していることは確かです。安全な上水道が普及しているとは言え、まだまだ地下水に頼っているご家庭が多いようです。が、一考の余地はあるのではないかでしょうか。

汚染がすすむ地下水

大半が水質基準オーバー

採水 9月9日

採水場所	適	不適	不適合事由
① 古川	○		
② 東町		○	臭気(下水臭)
③ 鳥喰上		○	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素(汚水等の混入)
④ 栗山		○	硝酸性窒素等及び大腸菌群の検出
⑤ 新島		○	色度(微生物の繁殖)(下水等の混入)
⑥ 北清水	○		
⑦ 屋形		○	大腸菌群 マンガン、色度

